

令和4年度

大学院教育学研究科 学生募集要項 (2次募集)

教育実践創成専攻 (教職大学院) 一般選抜、現職教員選抜

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、募集要項に記載されている日程や選抜方法等とは異なる方法で実施することがあります。

公表した内容から変更があった場合は、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>) に変更後の募集要項を掲載しますので、随時確認してください。

なお、状況によっては、変更後の内容がさらに変更となる場合もあります。



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学

(<https://www.yamanashi.ac.jp>)

《アドミッションポリシー》

教育学研究科

< 育成目標 >

地域や学校の教育課題への対応や、学校改善のためのマネジメント能力などとともに、教科横断と校種縦断という視点から、教科の目標・本質を踏まえた授業構想・展開などの総合的な実践力を高めることを目指しています。

< 求める能力・人物像 >

教育問題に強い関心を持ち、実践的な対応力と専門的な力量を身につけたいという意思を持ち、地域・文化の向上に寄与したいという意欲のある人を求めています。

教育実践創成専攻

< 育成目標 >

地域や学校の教育課題への対応や、学校改善のためのマネジメント能力などとともに、教科横断と校種縦断という視点から、教科の目標・本質を踏まえた授業構想・展開などの総合的な実践力を高めることを目指しています。

また、目指す教師像は次のとおりです。

本専攻では、地域や学校の教育課題に対応し、学校において指導的・中核的な役割を果たす教員を育成します。現職教員学生に対しては、若手教員の育成や、教科の目標・本質を踏まえた学習指導、学級マネジメントに関する指導的役割を果たし、新しい学校づくりのリーダーや管理職として学校を運営していく教員を育成します。学部卒業学生に対しては、教科指導・学級経営に関する実践力を備え、将来的に新しい学校づくりの有力な担い手となる教員を育成します。

< 求める能力・人物像 >

本専攻では、以下の知識・技能等を有している学生を求めています。

一般選抜

教育課程の編成

学習指導要領および教育課程に関する基礎的な知識を有している人

子ども理解や指導方法

子ども理解に基づく適切な指導法について基礎的な知識を有している人

教師や学級、学校のあり方

教師の役割と学級経営や学校経営の意義について知識を有している人

地域の子どもとその教育

地域の教育課題について関心を有している人

教科指導

各教科の指導について基礎的な知識と技能を有している人

教育的な諸課題の探究

教育課題に関して強い探究心を有している人

現職教員選抜

教育課程の編成

学習指導要領および教育課程に関する基礎的な知識を十分に有している人

子ども理解や指導方法

子ども理解に基づく適切、かつ、きめ細やかな指導法について知識を有している人

教師や学級、学校のあり方

教師の役割と学級経営や学校経営の意義について十分な知識を有している人

地域の子どもとその教育

地域の教育課題について強い関心を有している人

教科指導

各教科の指導について高度な知識と技能を有している人

教育的な諸課題の探究

教育課題に関して教育実践に裏打ちされた強い探究心を有している人

現職教員選抜（学校マネジメント分野）

教育課程の編成

学習指導要領および教育課程に関する高度な知識を十分に有している人

子ども理解や指導方法

子ども理解に基づく適切、かつ、多様な指導法について高度な知識と技能を有している人

教師や学級、学校のあり方

教師の役割と学級経営や学校経営の意義について高度な知識を有している人

地域の子どもとその教育

地域の教育課題について強い関心と知識を有している人

教育的な諸課題の探究

教育課題に関して教育実践に裏打ちされた強い探究心と俯瞰する力を有している人

教育実践開発コース

<育成目標>

教育に関する高度な実践的専門性を有し、地域の学校の課題に即した学校改善・学級改善・授業改善の構想力・実践力、教育実践をリードする力を育成することを目標としています。

また、本コースの各分野で目指す教師像は次のとおりです。

学校マネジメント分野では、学校経営、学校安全と危機管理、学校改善などに関する力を有し、学校づくりをリードできる教員を育成することを目指しています。

教師力育成分野では、学校が抱える様々な問題を解決する力を有し、カリキュラム開発、教育臨床、異校種間の連携、地域との連携を実践する力を有する教員を育成することを目指しています。

<試験区分別の入学者選抜の基本方針>

専攻で定める<求める能力・人物像>で示す能力等を有する人を評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

口述試験、書類審査の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。

現職教員選抜

本選抜は、3年以上の教職経験を有し、現に学校又は教育機関に専任として在職している人を対象に実施しています。口述試験、書類審査、口頭試問（学校マネジメント分野のみ）の結果を総合的

に判断して、合格者を決定します。

教科領域実践開発コース

<育成目標>

小学校、中・高等学校の各教科において、質の高い教育内容研究・教材研究をもとにした授業の構想力・実践力、さらに教科横断・校種縦断に基づく高度な授業開発力を育成することを目標としています。

また、本コースの各分野で目指す教師像は次のとおりです。

初等教科教育分野では小学校の各教科等において、中等教科教育分野では中・高等学校の各教科等において、教科の目標・本質を踏まえ質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成する。さらに、教科横断・校種縦断に基づき、より高度な授業開発・実践・評価のできる教員を育成する。

<試験区分別の入学者選抜の基本方針>

専攻で定める<求める能力・人物像>で示す能力等を有する人を評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

口述試験、書類審査の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。

現職教員選抜

本選抜は、3年以上の教職経験を有し、現に学校又は教育機関に専任として在職している人を対象に実施しています。口述試験、書類審査の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。

目 次

アドミッションポリシー

募集要項

1	募集人員	1
2	出願資格	1
3	出願手続等	2
4	選抜方法	5
5	試験日時及び場所	6
6	合格者の発表	6
7	合格者の発表後の提出書類	7
8	入学手続	7
9	授業料	8
10	その他の経費	8
11	個人情報の取扱いについて	8
12	入学試験における感染症対応について	8

入学案内

1	履修基準及び単位数等	10
2	修了要件及び学位の授与	10
3	取得可能な教員免許状について	11
4	大学院設置基準に定める教育方法の特例措置について	11
5	学部聴講及び学部聴講による教育職員普通免許状(一種又は二種)取得について	11
6	長期履修学生制度について	12
7	短期履修学生制度について	13
8	開設授業科目	14

Web 出願利用ガイド

山梨大学(甲府キャンパス)建物配置図及び周辺図

【問い合わせ先】

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

平日(月～金)8時30分～17時

(休日、祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く。)

募 集 要 項

1 募集人員

専攻	コース	分野	募集人員
教育実践創成専攻	教育実践開発コース	・学校マネジメント分野 ・教師力育成分野	若干名
	教科領域実践開発コース	・初等教科教育分野 ・中等教科教育分野	

(注) 学校マネジメント分野以外の志願者は、「教師力育成分野」、「初等教科教育分野」、「中等教科教育分野」の3分野から、希望する分野を出願時に選択すること。ただし、希望通りの配属が難しい場合があるので、第一希望に加え、必ず第二希望も選択すること。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方で教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）に定める普通免許状（二種以上）を有する方又は令和 4 年 3 月までに取得する見込みの方に限る。

現職教員選抜に出願できる方は、令和 4 年 4 月 1 日現在で 3 年以上の教職経験を有し、現に学校又は教育機関に専任として在職している方に限る。

教育実践開発コース 学校マネジメント分野に出願できる方は、令和 4 年 4 月 1 日現在で 10 年以上の教職経験を有し、現に学校又は教育機関に専任として在職し、教育委員会の推薦を有する方に限る。

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学を卒業した方又は令和 4 年 3 月までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された方又は令和 4 年 3 月までに授与される見込みの方（注 1）
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した方又は令和 4 年 3 月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該国の学校における 16 年の課程を修了した方又は令和 4 年 3 月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされる方に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和 4 年 3 月までに修了見込みの方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方（昭和 28 年文部省告示第 5 号）（注 2）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす方に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和 4 年 3 月までに修了見込みの方
- (8) 令和 4 年 3 月末現在において大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得した方と本学大学院が認めた方

- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で、令和4年3月までに22歳に達している方

(注1) 学位の取得見込みの方

修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科、修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科及び高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を行ったこれら専攻科を修了する見込みの方で、当該修了見込み年度内に学士の学位の授与を受けようとする方

(注2) 昭和28年文部省告示第5号(抄)

10 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有し22歳に達した方

【注意事項】

「2 出願資格」の(8)、(9)のいずれかの資格により入学を志願しようとする方については、事前に出願の資格審査を行いますので、提出書類等について、令和3年10月26日(火)までに教学支援部入試課に問い合わせてください。

【受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談】

病気やけが、障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和3年10月26日(火)までに教学支援部入試課に申し出てください。

3 出願手続等

- (1) 出願方法 ※詳細は本要項掲載の「Web出願利用ガイド」を確認してください。

次のURLからWeb出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って出願情報等を登録してください。

Web出願サイト：<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

- ① Web出願サイトから、利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

- ② 入学検定料の支払い

↓

- ③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

※ 出願期間内に①～③の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願の受理はできません。

- (2) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000円

・「検定料の支払い」画面で次の①～④の中から支払方法を選択してください。クレジットカード以外の支払方法は、入金を確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

なお海外から出願する方の支払方法は、クレジットカードのみです。

- ① クレジットカード、② コンビニエンスストア、③ 金融機関ATM(Pay-easy)、

- ④ ネットバンキング

・全ての支払方法において、別途必要な手数料は志願者負担になります。

・出願の受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

【入学検定料の免除について】

本学では、東日本大震災、平成 28 年熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年北海道胆振東部地震、令和元年台風第 15 号及び第 19 号の被災者及び令和 2 年 4 月以降に発生した災害により災害救助法の適用となる地域の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。免除申請書類等の詳細につきましては、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>) で確認してください。

(3) 出願書類

- ・ 出願書類には、各自が準備する書類と Web 出願サイトから印刷する書類があります。
- ・ 本学ホームページから印刷する書類は、次の URL からダウンロードしてください。
本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項
<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45> (出願登録期間前からダウンロード可能)
- ・ 外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

提出書類	提出該当者	摘 要
成績証明書	全 員	出身大学長等が発行した、最終学歴のものを提出してください。
卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書 ※ <u>本学を卒業見込の方は提出不要</u>	「2.出願資格」 (1)、(2)、(3)、(5)、(7) の該当者(注)	出身大学長等が発行した、最終学歴のものを提出してください。
学位授与証明書	「2.出願資格」(2) の該当者(注)	大学改革支援・学位授与機構が発行したものを提出してください。
教育職員免許状授与証明書又は 教育職員免許状の写し又は 免許状取得見込み証明書	全 員	免許状を授与した都道府県教育委員会が発行したものを提出してください。 免許状を取得見込みの方は、大学等が証明した免許状取得見込み証明書を提出してください。
履歴書	全 員	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。
郵便切手貼付用紙 (受験票送付用)	日本国内在住の方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国内在住の方 Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、344 円分の郵便切手（速達料含む）を剥がれないように貼り付けてください。郵便切手は過不足なく用意してください。 ・ 海外在住の方 提出する必要はありません。受験票は、Web 出願サイトに登録した E-mail アドレスへ送信します。

志望理由書	全 員	<p>本学ホームページから【志望理由書】を印刷し、内容を記入の上、提出してください。</p> <p>志望理由書の内容は、専攻の志望動機及び2年間の目標（身に付けたい力量、解決したい課題など）をまとめてください。</p> <p>※学校マネジメント分野の志願者で短期履修学生制度の申請を希望する方は、希望する理由も具体的に記入してください。</p>
受験承諾書	受験に際して所属機関の承諾を必要とする方	<p>本学ホームページから【受験承諾書】を印刷し、所属長（学校長等）が承諾したものを提出してください。</p> <p>※学校マネジメント分野の志願者で短期履修学生制度の申請を希望する方は、短期履修学生制度申請者用の受験承諾書を提出してください。学校マネジメント分野以外の志願者の方は、学校マネジメント分野以外用の受験承諾書を提出してください。</p> <p>※山梨県教育委員会が発行した受験承諾書がある方も、必ず所属長（学校長等）が発行した承諾書が必要です。</p>
これまでの教育実践の概要	現職教員 (学校マネジメント分野の志願者以外)	<p>本学ホームページから【これまでの教育実践の概要】を印刷し、2,000字程度で内容を記入の上、提出してください。</p> <p>併せて、これまでの教育実践を証明できるもの（学会誌の論文、各種研究会の実践報告や資料、学級通信などの日常的な教育実践資料など3点まで。コピー・写真可）を添付してください。</p>
研究業績調書	現職教員 (学校マネジメント分野の志願者)	本学ホームページから各書類を印刷し、内容を記入の上、提出してください。
職務実績調書		
教育委員会による推薦書		
住民票	戸籍が日本国以外の方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国内在住の方 住居地の市区町村長が交付する【住民票（在留資格及び在留期間が明記されたもの）】を提出してください。 ・ 海外在住の方 【旅券の写し（顔写真が掲載されているページ）】を提出してください。
戸籍抄本	該当者	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は提出してください。

(注) 「2 出願資格」(2)に該当する方で学位取得見込みの方は次のものを提出してください。

- ① 在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書
- ② 在籍する短期大学長又は高等専門学校長による学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書

(4) 出願期間

令和3年11月10日(水)～11月17日(水) 17時まで 【出願期間内必着】

出願期間内に Web 出願サイトで「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願の受理はできません。

(5) 出願書類等の提出方法

Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。郵送する場合は、郵便事情を考慮し、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

① 日本国内在住の方

Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼ってください。郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。持参する場合は、出願期間中の平日(休日・祝日を除く) **9時から16時30分**(12時(正午)から13時除く)の間に教学支援部入試課窓口に出してください。

② 海外在住の方

EMS や DHL 等の確実に届く方法で本学へ郵送してください。その際、Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を同封してください。

(6) 出願書類等の郵送先・照会先

教学支援部入試課 電話：055-220-8046

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

【出願書類の提出に際しての留意事項】

- ① 出願情報等及び出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので十分注意してください。
- ② 出願の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き出願情報の内容変更は認めません。また、出願書類の返還及び変更も認めません。
- ③ 出願情報等に事実との相違が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

4 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、口述試験、書類審査、口頭試問(学校マネジメント分野のみ)の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。

コース	分野	項目(配点)
教育実践開発コース	学校マネジメント分野	口述試験・口頭試問(200) 書類審査(100)
	教師力育成分野	口述試験(200)
教科領域実践開発コース	初等教科教育分野	書類審査(100)
	中等教科教育分野	

・教育実践開発コース 学校マネジメント分野

選抜	口述試験・口頭試問	
現職教員選抜	口述試験	志望理由、現在の学校教育の課題、学校改善・授業改善に関する課題等について、志望理由書に基づいて試問します。
	口頭試問	学校経営、組織マネジメントに関わる分野について、研究業績調書及び職務実績調書に基づいて試問します。

・教育実践開発コース 教師力育成分野 及び 教科領域実践開発コース

選抜	口述試験	
一般選抜	志望理由、現在の学校教育の課題、学校改善・授業改善に関する課題等について、志望理由書に基づいて試問します。	
現職教員選抜	志望理由、現在の学校教育の課題、学校改善・授業改善に関する課題等について、志望理由書、これまでの教育実践の概要に基づいて試問します。	

5 試験日時及び場所

(1) 試験日時：令和3年12月4日（土）

・教育実践開発コース 学校マネジメント分野

選抜	試験科目	試験時間	集合時刻	集合場所
現職教員選抜	口頭試問	14：00～	13：40 まで	M号館1階 M-12 教室 (甲府西キャンパス)
	口述試験	口頭試問後		

・教育実践開発コース 教師力育成分野 及び 教科領域実践開発コース

選抜	試験科目	試験時間	集合時刻	集合場所
一般選抜	口述試験	9：30 ～12：00	9：10 まで	M号館1階 M-12 教室 (甲府西キャンパス)
現職教員選抜	口述試験	14：00 ～17：00	13：40 まで	

(2) 試験場：山梨大学 甲府西キャンパス（甲府市武田4丁目4-37）

指定された集合時刻までに、甲府西キャンパス M号館1階の M-12 教室（8：40 開場）に集合してください。試験室は、当日集合場所で案内します。

6 合格者の発表

令和3年12月10日（金）16時頃、甲府西キャンパス J号館玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を発送します。

なお、合格者の受験番号をホームページ (https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list) にも掲載しますが、最終的な確認は合格通知書で行ってください。電話等による可否の問い合わせには応じられません。

7 合格者の発表後の提出書類

以下の書類を次の URL からダウンロードし、必要事項を記入の上、令和3年12月22日(水)までに教育学域支援課教務グループへ持参又は郵送してください。

・山梨大学教育学部・教育学研究科ホームページ

<https://www.edu.yamanashi.ac.jp/tgs/2296/#A1>

(1) 入学確約書

合格者のうち入学を確約できる方は、「入学確約書」を提出してください。

(2) 令和4年度実習に関わる事前調書

合格者全員、「令和4年度実習に関わる事前調書」を提出してください。

(3) 長期履修学生申請書

合格者のうち長期履修制度を希望する方は、「長期履修学生申請書」を提出してください。

(4) 教員免許状（一種又は二種）取得申請書

合格者のうち教員免許状（一種又は二種）取得を希望する方は、「教員免許状（一種又は二種）取得申請書」に希望する教員免許状の「学力に関する証明書」を添付のうえ、提出してください。

(5) 合格者の発表後の提出書類に関する問い合わせ先

教育学域支援課教務グループ 電話：055-220-8732 又は 8735

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

8 入学手続

(1) 入学手続期間：令和4年3月8日(火)～3月15日(火)

【留意事項】

- ① 指定された期間内に入学手続を完了しなかった方は、本学への入学の意志がなく入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 入学手続には、本学の受験票の提示が必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

(2) 納入金

入学金 282,000 円（予定）

入学金は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学金はいかなる理由があっても返還しません。

(3) その他

入学手続関係書類は、別途発送します。

9 授業料

前期分：267,900 円〔年額 535,800 円〕（予定）

- ・授業料は予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。
- ・授業料は、原則口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

10 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

11 個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報について、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

(1) 出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤今後の入学者選抜方法検討や志願動向の分析、大学教育の改善等に関する調査・研究を行うために利用します。

なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法検討資料の作成のために利用します。

(3) 入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

なお、上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

※個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することはありません。

12 入学試験における感染症対応について

本学では、入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還はしませんので、万全の状態を試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。（試験当日までに、次頁の「受験生に対する要請事項」を熟読してください。）

○受験生に対する要請事項

①感染防止のための注意事項

日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。

(参考) 受験生のみなさんへ ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～

https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf



②医療機関での受診

試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生は、あらかじめ医療機関で受診してください。

③受験できない方

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方は受験できません。ただし、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者のうち、次の条件全てに該当する場合は、本試験の受験を認めますので、その旨を試験前日までに本学入試課へ申し出てください。(別室受験となります。)

1) 初期スクリーニング(自治体によるPCR検査及び検疫所における抗原定量検査)の結果、陰性であること(結果が判明していない場合は受験できません。)

2) 受験当日も無症状であること

3) 公共の交通機関(電車、バス、タクシー、航空機(国内線)、旅客船等)を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来られること

※海外から日本に入国して受験する場合、受験生は防疫対策として要請される事項に基づき行動することから、入国後の待機期間中は受験できません。

④試験当日における対応

試験当日、発熱・咳等の症状のある受験生は、その旨を試験監督者等に申し出てください。

なお、症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では常に正しく着用(鼻と口の両方を確実に覆う)してください。何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、別室受験となります。「受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談」(2頁)に基づき、事前に本学入試課へ連絡してください。また、休憩時間等における他者との接触・会話を極力控えてください。

⑤試験当日の服装

試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、暖かい上着などを持参してください。

⑥予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望まれます。

⑦「新しい生活様式」等の実践

日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

⑧新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のダウンロード

「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA: COVID-19 Contact Confirming Application)は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができるものであり、その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができることから、これを活用することが望まれます(地域独自のQRコード等による追跡システムがある場合は、その利用も望まれます。)。なお、通知を受けたことが直ちに濃厚接触者であることを意味するものではないことに留意すること。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から受験生以外の方は入構できません。

入学案内

1 履修基準及び単位数等

(1) 単位数

科目区分	教育実践開発コース		教科領域実践開発コース	
	学校マネジメント分野	教師力育成分野	初等教科教育分野	中等教科教育分野
共通必修科目	12 単位			
分野必修科目	8 単位	6 単位		
分野選択科目	12 単位			
課題研究	4 単位	6 単位		
実習	10 (5) 単位※	10 単位		
単位数合計	46 (41) 単位※	46 単位		

※ 学校マネジメント分野の () の単位数は、修業年限が1年と認められた(短期履修制度)学生の単位数。

(2) 時限と時間

時 限	時 間
I	9 : 00 ~ 10 : 30
II	10 : 40 ~ 12 : 10
	昼休み
III	13 : 10 ~ 14 : 40
IV	14 : 50 ~ 16 : 20
V	16 : 30 ~ 18 : 00
VI	18 : 10 ~ 19 : 40

(3) 履修単位数の上限

教職大学院の課程専門科目の履修単位数の上限は、年間合計 30 単位とします。なお、1 学期毎の上限は 20 単位とします。

2 修了要件及び学位の授与

(1) 教育実践開発コース 学校マネジメント分野

当該課程に2年以上在学し、教育学研究科規則に定める授業科目を46単位以上(実習10単位を含む。)を修得した方には、教職修士(専門職)の学位を授与します。ただし、現職教員としての実務の経験を有する方のうち所定の基準を満たした方の修了要件は、当該課程に1年以上在学し、教育学研究科規則に定める授業科目を41単位以上(実習5単位を含む。)を修得することとします。

(2) 教育実践開発コース 教師力育成分野及び教科領域実践開発コース

当該課程に2年以上在学し、教育学研究科規則に定める授業科目を46単位以上(実習10単位を含む。)を修得した方には、教職修士(専門職)の学位を授与します。

3 取得可能な教員免許状について

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭一種免許状を有する方は、本研究科における基準に基づき、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得することにより、それぞれに対応する専修免許状を取得することができます。取得できる教員免許状の種類及び教科は次のとおりです。

種類	教科（領域）
小学校教諭専修免許状	
中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、家庭、英語、書道

4 大学院設置基準に定める教育方法の特例措置について

現職教員等が高等教育を受ける機会を拡大するため、現職教員等に対して出願時の申請に基づき大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置を次のとおり実施します。

- (1) 特例措置の適用を認定された方は、修業年限の前半 1 年間を研究科における研究と授業に専念します。この期間における履修単位数は、39 単位以上とします。
- (2) 後半の 1 年間は、在職校でその勤務と教育実践研究とを並行し、研究科の指定した日に登校して研究指導を受けるとともに、定められた科目の履修を行います。
- (3) 特例による授業は、現職教員等の勤務様態を勘案し、集中講義等を開設します。
- (4) 特例措置の適用を認定された方は、1 履修基準及び単位数等の (3) にある履修単位数の上限を超えて履修することができます。その際、指導教員の指導のもとに履修を計画し、書面（教育方法の特例による授業科目履修願）をもってその旨を研究科長に願い出て、その承認を受ける必要があります。

5 学部聴講及び学部聴講による教育職員普通免許状（一種又は二種）取得について

教育学部で開講されている授業科目の聴講を希望する場合は、指導教員の承諾を得て、各学期初めに申請を行い、研究科委員会において承認を得た場合のみ履修することができます。ただし、修得した単位は修了要件に含めることはできません。

なお、教員免許状（一種又は二種）取得のために学部聴講を行う場合は、以下のとおりとなります。

(1) 概要

大学院で学びながら、教育学部で開設している教育職員免許状の取得資格を得るための授業科目を履修し、所定の単位を得ることで、一種又は二種免許状の取得が可能となります。さらに、大学院で所定の単位を修得することにより、専修免許状を取得することもできます。学部レベルの教員養成カリキュラムを受講しながら、同時に修士レベルの高度な教育実践力及び専門的知識の習得を目指すことができます。

なお、この学部聴講による教員免許取得については、大学院での研究活動に支障を生じない範囲で認められます。

(2) 取得できる教員免許状について

取得できる免許状は、本学教育学部で課程認定を受けているものとなります。入学時に保有している免許状とは異なる校種の免許状取得を希望する場合は、取得できる免許状の数は、原則として 1 校種

のみとします。ただし、同一教科の中学校、高等学校の場合は2校種も可とします。なお、本人が所有する免許状を二種から一種にする場合は、1校種のみという制限はありません。

(3) 在学期間

教員免許状の取得を希望する場合は、長期履修制度により3年以上の長期履修となります。ただし、入学前に履修し終えている科目の単位数によっては、在学期間が2年で修了することができる場合があります。〔長期履修制度については次項の「6 長期履修学生制度について」参照〕

(4) 申請及び履修方法

教職大学院で学部聴講による教員免許状（一種又は二種）の取得を希望する場合は、入学前に申請を行います。各自希望する教員免許状の取得に必要な単位数を本学教育学部の履修規程等で確認してください。その上で、本学において単位の共有や読み替え等が可能であるかの判断を行い、計画的な履修が見込める場合は学部聴講による教員免許取得を認めます。この判断のために、3月までに事前ガイダンスを行います。

(5) 授業料

授業料については、在籍期間分の授業料を支払うことになります。学部聴講科目の授業料は徴収しません。なお、長期履修制度が適用された場合の授業料については、次項の「6 長期履修学生制度について」を参照してください。

詳細は、教育学域支援課教務グループ（電話：055-220-8735）にお問い合わせください。

6 長期履修学生制度について

この制度は、職業を有していること等により修学が困難な場合又は学部聴講による教員免許状の取得を希望し認められた場合、標準修業年限（2年）を超えて、一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができるものです。履修すべき総単位数は、2年で修了するものと同じであることから、単年度の時間的負担は相当軽減されることになります。

ただし、長期履修学生として認められるためには、入学時又は1年次の2月に山梨大学長に必要書類を添付の上、申請して許可を得ることが必要となります。

長期履修学生として認められますと、通常2年の大学院修了年限のところを、例えば3年間で修了することができます。この間の授業料は、2年分を3年に分割して納入することになります。すなわち2年間（4学期）の授業料1,071,600円（年間535,800円）を3年間（6学期）に分割して納めていただくために、年あたりの負担額は357,200円（每学期178,600円）と少なくなります。なお、職業を有している等の理由による場合は最大4年とし、免許状取得の場合は最大3年とします。

また、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて6年まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については留年扱いとなり、通常の授業料が適用されることになります。また、在学中に新規申請したり、許可された長期履修期間を1回に限り延長（3年を4年に）又は短縮（4年を3年に）することもできます。

詳細は、教育学域支援課教務グループ（電話：055-220-8735）にお問い合わせください。

授業料納入方法例

修業年限	授業料総額 1,071,600円			
2年〔通常〕 (4学期)	1年目		2年目	
	535,800円		535,800円	
3年 (6学期)	1年目	2年目		3年目
	357,200円	357,200円		357,200円
4年 (8学期)	1年目	2年目	3年目	4年目
	267,900円	267,900円	267,900円	267,900円

- ※ 令和3年度の授業料年額により計算されたものです。
- ※ 授業料が改定された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。

7 短期履修学生制度について

(教育実践開発コース 学校マネジメント分野志願者対象)

短期履修学生制度は、厳正な審査により認められた方が、1年間の履修によって修了することができるものです。

この制度の審査は、出願書類により行います。短期履修が認められた場合は、実習Ⅰの5単位が免除となり、1年間の履修計画を立てて、短期履修学生として在籍します。また、授業料は1年間分のみとなります。また、修了生の資質を保证するため、短期履修学生には次の3つを課します。

- (1) 教職大学院修学前プログラムの受講・・・入学後の円滑な修学を保证するもの。
- (2) 実習Ⅰ(5単位)代替レポートの提出・・・入学前の実績と前期までの修学を通じて学校マネジメント分野としての十分な学修成果を短期履修で保证できるか確認するもの。
- (3) 教職大学院フォローアップ・プログラムの受講・・・理論と実践の融合を定着させ、学び続ける教師像として職務に一層取り組むことができるように保证するもの。

※ 短期履修学生には最低1年間のフォローアップが義務づけられます。

修学前プログラム	教職大学院の教育課程	フォローアップ・プログラム
研究計画の 事前相談	教育フォーラム〔年2回〕 参加	参加
参加	教育実践フォーラム(教職大学院)〔2月上旬〕 参加	
	指導重点説明会(山梨県教育委員会) 〔2月上旬〕	参加
	山梨県国内留学生成果報告会 (山梨県総合教育センター) 〔3月中下旬〕	
	教育実践創成専攻ホームカミングデー(教職大学院)	参加
		発表/参加
		学校訪問指導

詳細は、教育学域支援課教務グループ(電話:055-220-8735)にお問い合わせください。

8 開設授業科目

【科目分類記号】

◎：共通必修科目

○：分野必修科目

△：分野選択科目（教科領域実践開発コースの*の授業科目は1科目まで分野選択科目の単位に含むことができる）

◇：実習科目

☆：課題研究科目

区分	科目名	単位	科目分類				備考	
			教育実践開発コース		教科領域実践開発コース			
			学校マネジメント分野	教師力育成分野	初等教科教育分野	中等教科教育分野		
共通領域5	教育課程の編成・実施	教育課程の内容と編成	2	◎	◎	◎	◎	
		特別の教育課程	2	△	△			
		小学校における接続期カリキュラムの実践と課題	2	△	△			
		初等教科横断型・総合型プロジェクト実践論	2			○		
		中等教科横断型・総合型プロジェクト実践論	2				○	
	教科等の実践的な指導方法	道徳教育の理論と実践	2	△	△			
		授業研究マネジメント論	2	△	○	○	○	
		情報教育・ICT活用の理論と実践	2	◎	◎	◎	◎	
		障害児の指導法	2		○			
		エビデンスに基づく教育支援	2	△				
	生徒指導・教育相談	発達障害児の心理	2	◎	◎	◎	◎	
		教育相談・生徒指導論	2	△	○	○	○	
		インクルーシブ教育	2	△	△			
		子どもエンパワーメント論	2		△			
	学級経営・学校経営	学校・学級文化の創造と学級経営	2	◎	◎	◎	◎	
		学校安全と危機管理	2	○	△			
		教育法規とコンプライアンス	2	○				
		学校改善論	2	○				
		学校組織経営論	2	○				
	学校教育と教員の在り方	現代学校・教師論	2	◎	◎	◎	◎	
教育政策の理論と実践		2	△	△				
独自領域	教育・地域課題挑戦プロジェクト実践論	2	◎	◎	◎	◎		
	山梨の学校改革	2	△	△				
	教職実践高度化演習	2	×	△	△	△		

教科 選 択 領 域	教科の本質と 目標・内容構成	国語科の本質と目標・内容構成	2			△	△	○初等教科教育分野では、同一教科の「各教科の本質と目標・内容構成」の科目と、「初等の各教科の教材研究と授業構想」の科目の2科目を選択し、教科選択領域から分野選択科目として合わせて6科目（計12単位）以上修得すること。 ○中等教科教育分野では、同一教科の「各教科の本質と目標・内容構成」の科目と、「中等の各教科の教材研究と授業構想」の科目の2科目を選択し、教科選択領域から分野選択科目として合わせて6科目（計12単位）以上修得すること。
		社会科の本質と目標・内容構成	2			△	△	
		数学科の本質と目標・内容構成	2			△	△	
		理科の本質と目標・内容構成	2			△	△	
		音楽科の本質と目標・内容構成	2			△	△	
		図画工作科・美術科の本質と目標・内容構成	2			△	△	
		体育科・保健体育科の本質と目標・内容構成	2			△	△	
		技術科の本質と目標・内容構成	2				△	
		家庭科の本質と目標・内容構成	2			△	△	
	英語科の本質と目標・内容構成	2			△	△		
	初等教科の 教材研究と 授業構想	初等国語科の教材研究と授業構想	2			△	*	
		初等社会科の教材研究と授業構想	2			△	*	
		初等数学科の教材研究と授業構想	2			△	*	
		初等理科の教材研究と授業構想	2			△	*	
		初等音楽科の教材研究と授業構想	2			△	*	
		初等図画工作科の教材研究と授業構想	2			△	*	
		初等体育科の教材研究と授業構想	2			△	*	
		初等家庭科の教材研究と授業構想	2			△	*	
		初等英語科の教材研究と授業構想	2			△	*	
	中等教科の 教材研究と 授業構想	中等国語科の教材研究と授業構想	2			*	△	
		中等社会科の教材研究と授業構想	2			*	△	
		中等数学科の教材研究と授業構想	2			*	△	
		中等理科の教材研究と授業構想	2			*	△	
		中等音楽科の教材研究と授業構想	2			*	△	
		中等美術科の教材研究と授業構想	2			*	△	
		中等保健体育科の教材研究と授業構想	2			*	△	
		中等技術科の教材研究と授業構想	2			*	△	
		中等家庭科の教材研究と授業構想	2			*	△	
	中等英語科の教材研究と授業構想	2			*	△		
	実習領域	実習Ⅰ(教育臨床実習)	5	◇	×	×	×	
実習Ⅱ(学校・行政マネジメント実習)		5	◇	×	×	×		
小学校実習Ⅰ(課題発見実習)		5	×	◇	◇	×		
中・高等学校実習Ⅰ(課題発見実習)		5	×	◇	×	◇		
小学校実習Ⅱ(課題達成実習)		5	×	◇	◇	×		
中・高等学校実習Ⅱ(課題達成実習)		5	×	◇	×	◇		
教職応用実習		3	×					
課題研究領域	課題研究Ⅰ	2	☆	☆	☆	☆		
	課題研究Ⅱ	2	☆	☆	☆	☆		
	課題研究Ⅲ	2	×	☆	☆	☆		

Web出願利用ガイド

出願期間内に「Web出願情報の登録」と「入学検定料の支払い」と「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

STEP 1

Web出願の事前準備

①インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレットなど

OSやブラウザは最新の状態にアップデートしておいてください。また、PDFを表示するために、アドビ社のAdobe Readerの最新版をダウンロード(無償)し、最新の状態にアップデートしておいてください。

②利用可能なメールアドレス

パソコンやスマートフォン等で利用可能なメールアドレスを用意してください。設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可し、迷惑メールに振り分けられないようにしてください。

③A4サイズの印刷が可能なプリンター

出願書類を印刷する際に必要です。自宅にプリンターがない場合、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。

④事前に準備できる出願書類

「成績証明書」などは発行に時間がかかる場合がありますので、早めに出身大学等や各発行機関に申請手続きをしてください。
「志望理由書」などの様式は、出願期間前から本学ホームページよりダウンロードが可能です。

⑤市販の角形2号封筒・郵便切手*

封筒は出願書類の送付に必要です。切手は各募集要項に記載の金額を過不足なく用意してください。海外在住の方は不要です。
※切手の代金は入試区分によって異なりますので、各募集要項を確認してください。

⑥顔写真

3ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、縦4：横3(縦800ピクセル×横600ピクセル以上)、JPEG形式の写真を用意してください。



【適切な顔写真の例】

STEP 2

メールアドレスの登録

インターネットで「山梨大学 Web出願」で検索または下のQRコードからWeb出願サイトにアクセスし、画面右上の「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにシステムからメールが届きますので、本文に記載されているURLより30分以内に次の手順に進んでください。

STEP 3

利用者情報の登録 ※いつでも登録が可能です。

画面の案内に従って個人情報(氏名、住所、電話番号、生年月日など)を登録してください。

STEP 4

出願情報の登録 ※出願期間中のみ登録が可能です。

画面の案内に従って出願情報(入試区分、志望コース等、顔写真など)を登録してください。



山梨大学入試
Web出願サイト

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

STEP 5

入学検定料の支払い

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「検定料の支払い」から、①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキングのいずれかの支払い方法を選択し、入学検定料をお支払いください。クレジットカード以外の支払い方法は、入金を確認されるまで2時間程度かかる場合があります。なお、海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。

STEP 6

出願書類の印刷・作成・提出

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「出願書類印刷」から必要な書類を印刷・作成してください。各自で用意した角形2号封筒に「封筒貼付票」を貼付し、「出願書類等チェックリスト」(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、山梨大学入試課に提出してください。
※出願書類の提出方法は、各募集要項を確認してください。

出願が受理されたら出願完了です。受験票の到着をお待ちください。

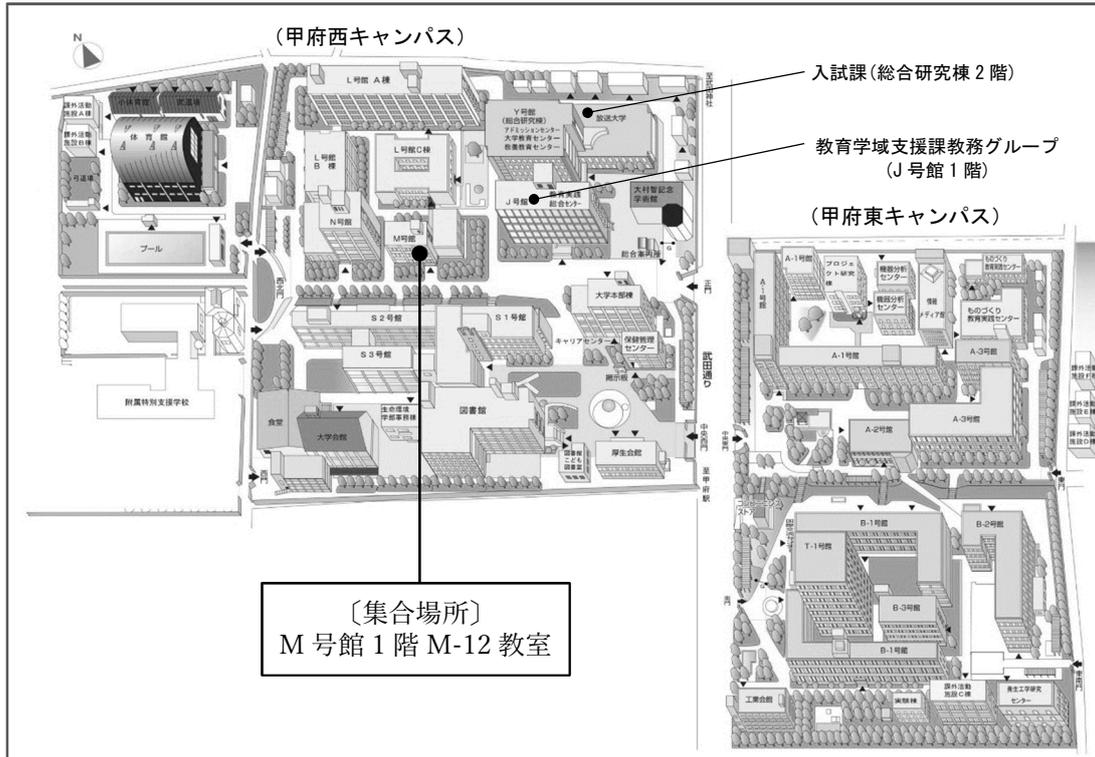
Web出願に関する問い合わせ

山梨大学 教学支援部入試課

☎055-220-8046 ✉web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※システム改修等により、登録手順や利用方法が変更になる場合があります。

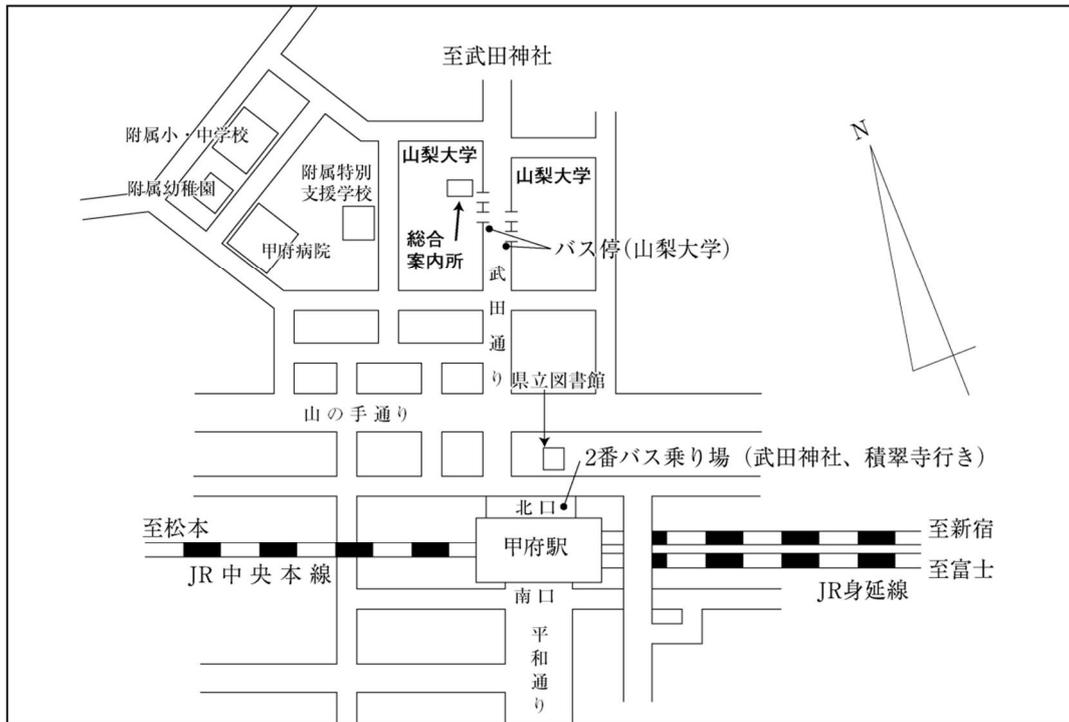
山梨大学（甲府キャンパス）建物配置図



山梨大学（甲府キャンパス）周辺図

JR甲府駅下車、北口から徒歩約15分

JR甲府駅下車、北口からバス(「武田神社」又は「積翠寺」行き)で約5分「山梨大学」下車



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。

受験番号※

志 望 理 由 書

ふりがな	
氏 名	
志望動機	

(注) 1 紙面が不足する場合は、A4判用紙で書き足してください。

2 両面印刷で出力して、提出してください。

3 ※印欄は大学側で記入します。

(裏面あり)

2年間の目標 (身に付けたい力量、解決したい課題などについて記入してください。)

※学校マネジメント分野の志願者で短期履修学生制度の申請を希望する方は、希望する理由も具体的に記入してください。

(教育学研究科教育実践創成専攻)
(学校マネジメント分野以外)

受験番号※

令和 年 月 日

山梨大学大学院
教育学研究科長 殿

所 属 長

(所 在 地)

(機関等名)

(職 名)

(氏 名)

職印

受 験 承 諾 書

下記の者が山梨大学大学院教育学研究科教育実践創成専攻の入学試験を受験することを承諾します。

記

所 属

受験者氏名 (自筆)

※印欄は大学側で記入します。

受験番号※

令和 年 月 日

山梨大学大学院
教育学研究科長 殿

所 属 長

(所 在 地)

(機関等名)

(職 名)

(氏 名)

職印

受 験 承 諾 書

下記の者が山梨大学大学院教育学研究科教育実践創成専攻の入学試験を受験することを承諾します。

なお、この者が山梨大学大学院教育学研究科教育実践創成専攻（教職大学院）での短期履修学生制度が適用された場合、必ず「教職大学院修学前プログラム」及び「教職大学院フォローアップ・プログラム」を受講することを受験者本人とともに確認しております。

記

所 属

受験者氏名（自筆）

※印欄は大学側で記入します。

(現職教員 (学校マネジメント分野の志願者以外))

受験番号※

これまでの教育実践の概要

ふりがな	
氏名	
2,000字程度でまとめてください。	

(注) 1 これまでの教育実践を証明できるもの (学会誌の論文、各種研究会の実践報告や資料、学級通信などの日常的な教育実践資料など3点まで。コピーや写真可) を添付してください。

2 ※印欄は大学側で記入します。

受験番号※

研 究 業 績 調 書

氏 名 ()

重点事項	事 項	年月日	概要 (本人の役割も含む)

(注) 1 主な研究業績 (校内授業研究、教育研究会での発表、研究論考、教育委員会・教育センター等主催の提案発表等) を新しいものから記載して、関連資料 (指導案、提案資料等) を添付してください。その上で、特に重要なもの3件について、重点事項欄に重要な順に番号 (1~3) をつけてください。なお1~3の番号をつけた事項において、修得したと思われる資質能力について裏面に論述してください。

2 ※印欄は大学側で記入します。

(裏面あり)

受験番号※

職 務 実 績 調 書

氏 名 ()

重点事項	所属及び職名・分掌	期間	主な職務内容

- (注) 1 職務（教育関係団体等での役割・校務の文章など）の実績に関わる主な役職などを新しいものから記載し、その上で、特に重要なもの3件について、重点事項欄に重要な順に番号（1～3）を付けてください。また、番号を付けた事項において、修得したと思われる資質能力について裏面に論述してください。
- 2 ※印欄は大学側で記入します。 (裏面あり)

(学校マネジメント分野)

受験番号※

教育委員会による推薦書

山梨大学長 殿

住 所

教育委員会

印

下記の者は、これまでに学校現場において十分な職務実績・研究業績を有しており、貴研究科出願資格を有す者として、教育実践創成専攻 学校マネジメント分野に推薦いたします。

記

所属（学校名）

氏 名

短期履修学生制度申請希望

(短期履修学生制度を希望する場合は、を付けてください。)

※印欄は大学側で記入します。

様式1(事前に出願資格審査の対象となる方のみ提出)

令和4年度
山梨大学大学院教育学研究科
教育実践創成専攻(教職大学院)

入学試験出願資格認定審査調書

※ 受験番号

山梨大学長 殿		年 月 日
(フリガナ) 氏 名 (旧姓)		男・女
生 年 月 日		年 月 日生 (歳)
国 籍		外国人(留学生) 志願者は国籍を記入
志望する選抜区分	一 般 選 抜	
志望するコース名	コース	
志望する分野	第1志望	第2志望
志願者連絡先	住 所	〒
	メール アドレス	@
	電 話 (携帯)	- - - -
勤務先又は職業	社会人の方のみ記入	
出 願 資 格	区 分	国立 ・ 公立 ・ 私立 (○で囲んでください。)
	大 学 等 名	
	学部・学科・専攻等名	
	卒業(見込)年月 修了(見込)年月	年 月 卒業(見込) ・ 修了(見込)

(注) ※印欄は、大学側で記入します。

履 歴

	年 月	事 項
学 歴 高等学校入学から記入してください。	年 月	入 学
	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年 月	入 学
	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年 月	入 学
	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年 月	入 学
	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年 月	入 学
	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	職 歴	年 月 年 月
年 月 年 月		
資 格 (特に取得見込みの教員免許等)	年 月	
	年 月	
賞 罰		

- (注) 1. 学歴欄には卒業・修了見込みについても必ず記入してください。
 2. 履歴中に虚偽の事項を記載、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが、入学後に判明した場合には、入学を取り消すことがあります。